

II 川越親愛センター（令和5年度事業計画/事業報告）

1. 令和5年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、積極的に障害施策の情報収集を行い、基準を満たす加算申請を行い安定した収入を目指し、障害者が安心して利用できる環境作り事業継続を目指す。新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、利用者が日々の生活で笑顔が溢れるようなサービスを提供する。

(1) 利用者支援

ア 施設入所支援事業においては、高齢化に伴う身体機能低下や多様化する利用者のニーズに対し、安全・安心な居住環境や必要な支援を行うための個室化並びに設備の導入を検討し提供する。また、将来的な施設整備に向けて調査研究を実施する。

イ 生活介護事業においては、一人ひとりを尊重した活動メニューを提供する。

(2) 職員の人材育成

人材育成については、利用者の人権を尊重できる倫理観の高い職員の育成を図り、利用者、家族、地域から信頼が得られる安全で安心な質の高いサービスを提供する。

(3) 福祉サービスの内容

ア 施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供する。

イ 生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中活動支援サービスや軽作業を提供する。

ウ 短期入所事業・日中一時支援事業 在宅の利用者を対象に地域における福祉施設としての役割を十分認識し、家族が安心してサービスを受けられるようサービスの質の向上を目指す。

エ あんしんネット親愛 生活困窮者への迅速な支援を実施し、自立に繋げる。

2. 令和5年度取り組み

(1) 利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 個別支援計画に基づく支援	(ア) 一人ひとりの思いや価値観を大切にし、意思を尊重した意思決定ができていないか、会議等で確認する。 (イ) 高齢化又重度化した利用者の個別ニーズを確認、個別支援計画、支援手順書を更新、情報共有を図る。	(ア) モニタリング会議で相談事業所・サビ管・支援主任で意思を尊重した意思決定ができていないか確認。 (イ) 支援会議で利用者の身体状況の変化を確認し個別支援計画 支援手順書を更新した。
イ 日中活動	(ア) 感染防止対策を継続し、四季が感じられる行事を企画(昨年度も利用したキッチンカーも活用)小グループでの外出を楽しむ。 (イ) 日常生活では楽しんで身体を動かす機会を提供し、身体機能の維持を図る。	(ア) 施設行事は通所・入所と2部制で実施、キッチンカーやパフォーマー依頼しながら楽しんだ。又外出先を検討しながら小グループでの外出・外食を楽しんだ。 (イ) 利用者のニーズに合わせ、リズム体操や近隣散歩を行い、楽しみながら身体を動かす時間を提供し機能維持を図った。

	(ウ) 作業班や余暇支援で作り上げた作品の発表の場を設ける。	(ウ) 余暇支援で作り上げた作品を施設内で展示、また障害者週間の集いで発表した。
ウ 支援の情報共有と環境改善	(ア) 情報共有し質の高い支援が行える様に、記録システム活用する。 (イ) 利用者が安心して生活が送れるように、職員が安心して支援ができるように業務マニュアルの更新 環境整備を行う。	(ア) 記録システムを活用し、非常勤職員においても情報共有を行い統一した支援に努めた。 (イ) 事故発生後の対応検証、再発防止に努め安心して生活ができるように環境整備検討を行った。 (見守りカメラの導入・Wi-Fiの整備)
エ 虐待防止・権利擁護	(ア) 虐待防止・権利擁護に関する研修の受講、内部研修を実施し、職員一人ひとりの意識の向上を図るとともに、支援の質を高め事業所底上げを図る。 (イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。	(ア) 全職員を対象に虐待防止・身体拘束防止の研修を行い、「丁寧な支援」についての意識を深めた。 身体拘束廃止・虐待防止委員会を開催し、支援現場において現状と対応について確認した。 (イ) 新規採用時に受講した。

(2) 人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 外部研修	キャリアパス制度に則し、必要な業務教育の一環として職務に必要な研修を受講する。	キャリアパス制度に応じ、オンライン研修など研修受講。 キャリアパス初任者3名・中堅職員2名・チームリーダー1名 強度行動障害基礎3名・実践研修2名 感染予防基礎研修受講
イ 内部研修	(ア) 職員の得意分野を活かした、グループ研修を実施し、障がい特性や高齢化に伴う介護技術を高める。 (イ) 新任職員については、主任を中心にOJT担当を配置し、教育を行う。	(ア) 2月に介護技術「移乗・移動介助の基本」を実施した。 (イ) 新任職員1名 OJT研修を実施した。

(3) 施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 施設の老朽化対策	(ア) ホールエアコン。 (イ) 厨房 ガス炊飯器。 (ウ) 門扉交換。	(ア) ホールエアコン入替 10月実施 1,793千円 (イ) ガス炊飯器交換 8月実施 396千円 (ウ) 門扉交換 8月実施 1,749千円 ※その他通信環境の整備 1,500千円
イ 居住環境の設備検討	高齢化や重度化した利用者が安心安全な生活ができる設備の導入を検討する。	安心して生活が提供できるように適宜修繕を実施した。また設備導入検討を行い次年度に繋げた。

ウ 施設整備検討	老朽化した居住棟の施設整備に向けた調査・研究を実施する。	本部 コンサル業者と施設整備に向け、調査・研究を実施した。 業務委託費 2,200 千円
----------	------------------------------	---

(4) 危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア 防災・防犯対策	(ア) 避難訓練を実施し、うち1回は夜間想定訓練。 (イ) 応急救護講習、水消火器訓練の実施。 (ウ) 防災計画の更新。	(ア) 避難、通報訓練8月 10月 11月 3月と4回実施した。 (イ) 11月に、AED 講習、水消火器訓練を実施した (ウ) 防災計画、消防計画の更新をした。
イ 業務継続計画 (BCP) の策定	令和 3 年度報酬改定に伴い、感染症や災害時の業務継続計画 (BCP) の策定が義務化 (令和5年度末まで) されたため、策定準備を進める。	親愛センター感染症及び業務継続 (BCP) を策定した。
ウ 安全運転管理	(ア) 車両点検、運行表の記入、安全運転を励行。 (イ) 事業所内での運転者の酒気帯びの有無の確認を徹底する。(道交法改正に伴う)	(ア) 業者による車両点検を実施した。 (イ) 運転時に酒気帯びチェックの確認を実施した。

(5) その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア あんしんネット 親愛事業	(ア) 寄り添い型連携支援を実施する。 (イ) 各種機関との連携・情報交換を行う。	年間相談 1 件 年間支援 0 千円
イ 地域社会との 共生	(ア) 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 (イ) 実習生、ボランティアを受け入れ、障がい者の理解を深めてもらい、後進の育成に努める。	(ア) 地域拠点として短期入所・日中一時の受け入れを実施した。 (イ) 実習生 14 名を受け入れ後進の育成を図った。
ウ 情報発信	ホームページへの情報掲載、事業報告等の開示、事業所見学者の受け入れを行う。	ホームページに施設行事写真を掲載した。
エ 産業医の変更	新規産業医 (ひかりクリニック) を選任し、医師との連携のもと、職員の健康管理や良好な職場環境の創出を図る。	ひかりクリニックと産業医と契約し、定期的に職場環境 労働環境のアドバイスを受けた。 業務委託費 396 千円

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分6	19	10	29	7	6	13
区分5	3	5	8	6	3	9
区分4	0	0	0	2	1	3
区分3	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0
合計	22	15	37	15	10	25

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上～30歳未満	30歳以上～40歳未満	40歳以上～50歳未満	50歳以上～60歳未満	60歳以上	平均(歳)
		(入所)	男	0	2	1	7	4
女	0		0	2	7	4	4	52.7
計	0		2	3	14	8	12	53.0
(通所)	男	0	3	4	3	2	3	42.1
	女	0	2	0	3	2	3	54.7
	計	0	5	4	6	4	6	46.7

(3)通院・入院状況(回)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
		入所	3	73	5	12	4	7	17	2	136	15
通所		0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
入院	件	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	4
	日	0	5	104	0	0	0	0	0	0	87	196

本人行かず、職員のみを通院は含まず

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	36.0	90.1
生活介護	60	55.4	90.6
短期入所	3	0.9	30.0
日中一時支援	なし	1.6	

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	1	その他(理美容・施設体験ボラ)	21
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除等)	0	合 計	22

※環境整備はさいたま保護観察所より依頼の社会貢献活動の受入れ

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	8	14	164